

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年 5月18日 更新

事務事業名		マンガミュージアム維持管理事業					☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政 策	3	教育の健康				所属部	教育委員会事務局	課長名	栗木清智	
	施 策	10	生涯学習の推進				所属課	生涯学習課	担当者名	大隅理央	
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備				所属班	生涯学習班	(内線)	1504	
予算科目		会計一般	款10	項5	目7	事業連番11721	根拠法令	合志市マンガミュージアム条例			成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :
終了、開始年度		☐ 29年度で終了 ☒ 29年度から開始					事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 29 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)			

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志マンガミュージアムの維持管理に必要な、備品・消耗品等の購入や光熱水費・通信費等の支払い、消防用設備保守点検や機械警備委託料、清掃管理委託料、入館料用券売機リース代等の支払い。
【業務の流れ】	消防用設備保守点検委託や機械警備委託、清掃管理委託、入館料用券売機リース等の契約の締結、備品・消耗品等の購入、光熱水費・通信費等の支払い。
【主な予算費目】	一般事務に必要な消耗品費、ミュージアムの専門業務に必要な備品購入費、光熱水費、パンフレットや年間パスポート用の印刷性本費、委託料(消防設備保守点検・清掃管理・機械警備・自動ドア保守点検)、備品購入費
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動) (DO)		30年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
マンガミュージアムのオープン。企画展の立案、実施		・マンガミュージアム公式ホームページの製作・公開 ・企画展の立案、実施
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア マンガミュージアムの開館日数	日	機械警備委託更新による入札額計上による増
→ イ 企画展及びイベント数	回	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
市民等		→ ア 人口
		→ イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
・マンガを文化として発信する ・マンガによって賑わいの場を創る		→ ア 来館者数
		→ イ
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
生涯にわたって目標、目的を持って学習を行っている		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移												
			単位	実績(決算)	28年度 実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	32年度 見込	33年度 見込	
① 活動指標	ア	日			0	205	204	299	299	299	299	
	イ	回			0	5	22	50	50	50	50	
② 対象指標	ア	人			0	60,100	61,652	61,500	62,000	62,500	63,000	
	イ											
③ 成果指標	ア	人			0	30,000	25,706	30,000	30,000	30,000	30,000	
	イ											
投資 事業 入費 量	財源 内訳	国庫支出金	千円									
		都道府県支出金	千円									
		地方債	千円									
		その他	千円			300	931	2,120				
		繰入金	千円									
	一般財源		千円			2,883	3,157	2,113	3,372	3,372	3,372	
		(A) 事業費計	千円		0	3,183	4,088	4,233	3,372	3,372	3,372	
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		0	2	4	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間		0	0	390	0	0	0	0	
		(B) 人件費計	千円		0	0	1,542	0	0	0	0	
	トータルコスト(A)+(B)			千円		0	3,183	5,630	4,233	3,372	3,372	3,372

事務事業名	マンガミュージアム維持管理事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 台風により一日臨時休館したため
	②30年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 台風という不測の事態による臨時休館であったため、平年であれば十分に達成度見込みあり。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 オープン前後から様々なメディアで取り上げられ、多くの来館者でにぎわっている。今後は新刊本の展示も行い、また企画展やマンガ講座を充実させることで、成果を向上させていく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似施設がない
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括（CHECK）

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

</